

①会議の目的

既存交通システムとの競合回避や、利用者目線に立った既存公共交通（モノレール、路線バス、タクシー）との連携を推進するため、各種調査で得られたモニタリング結果を公共交通事業者で協議し、既存事業への影響を評価、対策を検討する。

②第2回会議開催概要

日 時：令和3年1月19日（木）14：00～15：30

場 所：（一社）沖縄しまたて協会 3階 会議室

報告事項：

- （１）モニタリング会議の概要・第1回モニタリング会議議事録
- （２）実証運行利用状況
- （３）利用状況調査（全日調査）結果
- （４）本事業実施調査スケジュール及びデータ提供依頼について

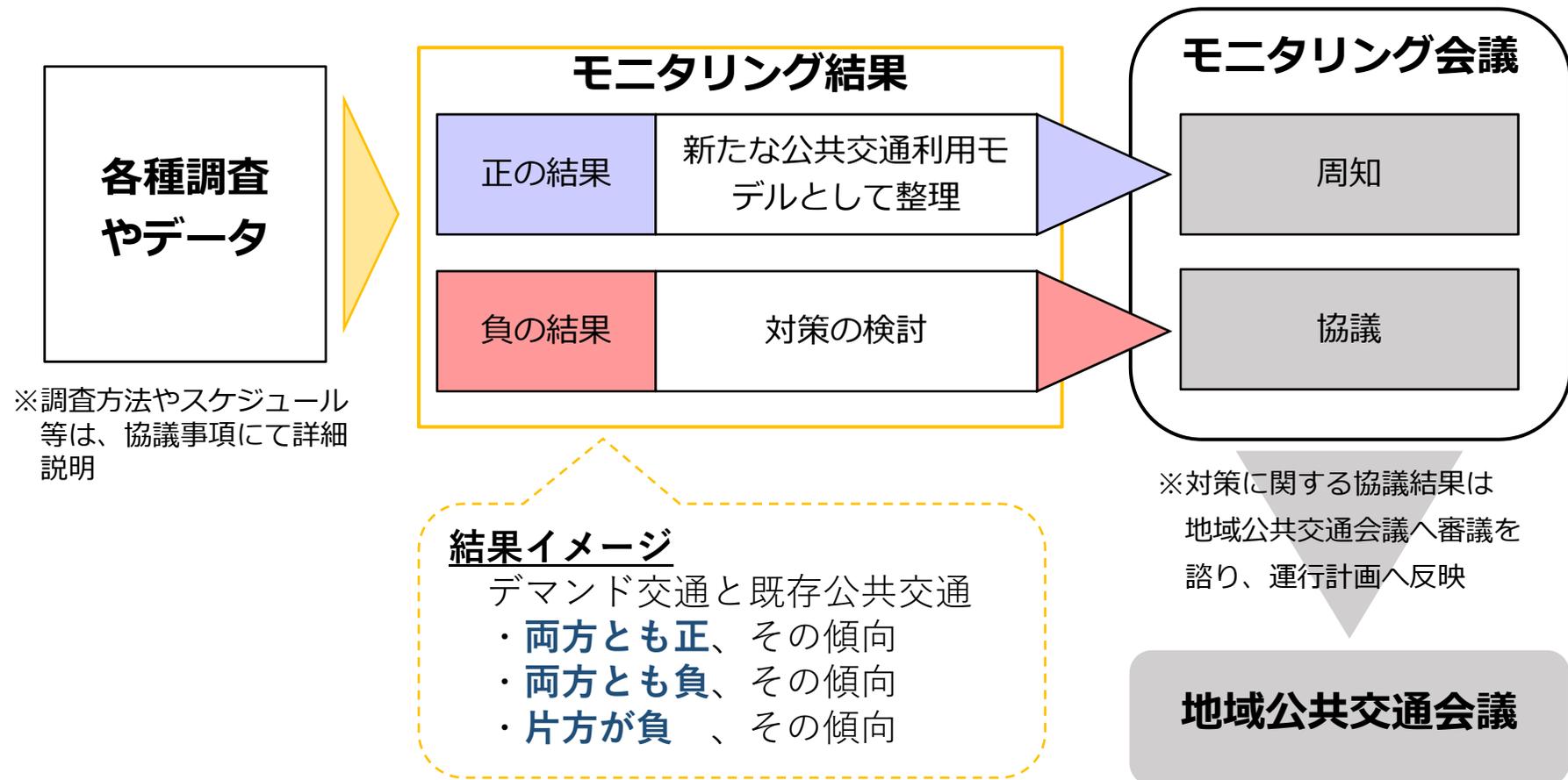
（構成員）

- 沖縄都市モノレール株式会社
- 那覇バス株式会社・株式会社琉球バス交通
- 沖縄バス株式会社
- 東陽バス株式会社
- 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会
- てだこモビリティサービス有限責任事業組合
- 浦添市 都市計画課



▲開催の様子

③モニタリング結果の取り扱い



④本事業で実施するモニタリング調査について

調査手法		調査方法	調査頻度	おもな調査項目
①	利用者アンケート	・車内常設アンケート ※任意回答	随時	・問題点 ・改善要望等の把握
		・調査員による全数調査 ※ある一日の全利用者調査	2回 第1回：12/19 第2回：未定	・他交通機関からの転換 ・新規需要状況 ・乗り継ぎ利用状況
②	乗降履歴による分析	・使用する配車システムの履歴データ分析 ※全期間調査	随時	・属性ごとの利用傾向 ・従前交通手段からの転換
③	市民アンケート	・広報誌折込による配布、郵送回収（15,000世帯） ※51,395世帯中約30%サンプリング	1回 （3月配布）	・認知度、利用状況 ・利用満足度 ・改善要望等
④	その他のモニタリング方法	<p>■各既存公共交通事業に対する影響を把握するため、下記資料についてデータを事務局までご提供頂きたい</p> <p><u>モノレール</u>：駅別の日毎または月毎の乗降者数</p> <p><u>タクシー</u>：市域内で完結している乗降者数</p> <p><u>路線バス</u>：市内を運行している路線別の日毎または月毎乗降者数</p>		

■令和2年度第2回 浦添市デマンド交通モニタリング会議 議事録

日 時：令和3年1月19日（木）14：00～15：30

場 所：（一社）沖縄しまたて協会3階 会議室

参加者：別紙の通り

2. 報告事項

（1）モニタリング会議の概要・第1回モニタリング会議議事録【資料1】

・質疑無し

（2）実証運行利用状況【資料2】

【東陽バス比嘉】P4の一覧表で同じ施設名が記載されているが、違いがあるのか。

【事務局豊里】資料間違いである。同じ施設なので数値を合算する。

【都市モノレール仲村】交通空白地域の方々の利用状況等は算出しているか。

【事務局豊里】まだ集計していない。次回会議には提示できるよう作業する。

（3）利用状況調査（全日調査）結果【資料3】

【東陽バス比嘉】P2ではデマンド利用者の割合で10代の利用者が見られ、通学かと思ったがどのような利用なのか。

【事務局豊里】P3の「うらちゃん mini の目的」の10代で通学4人、買物1人と回答している。

【東陽バス比嘉】データ上で10代の男性は路線バス利用が多いと出ているが、10代男性はタクシー利用も多い印象があるが、いかがか。

【事務局上間】よく言われるのが、若い女性はデマンドだと乗り合っている乗客に自宅を知られるのが嫌で利用を敬遠する傾向があるようだ。

【沖東交通東江】タクシー利用者を見ていると、男女関係なく雨の日は友達同士で乗りあっていると考えられる。

【事務局豊里】P2のような年代別、性別の調査データ等はあるか。沖東交通さんのアプリ登録者で判別できないか。

【沖東交通東江】そのような調査データ等は思い当たる限り無い。

【沖東交通前里】キャンペーンで応募した方の属性は取っているが、その方々と利用している方々の傾向は別と考えられる。登録者の名前を見て、性別は判別できると思うが、年代までは登録していない。

【事務局上間】県が平成18年に実施したパーソントリップ調査では、移動手段毎に調査しているの
で傾向はつかめるが、調査年度が古い。

【事務局豊里】**広報連携の可能性について、デマンド交通と各公共交通サービスとの SNS での広報
連携は可能か。**

【沖東交通東江】**いいと思う。デマンド交通の調査結果で、移動に係る費用負担を減らしたいと思**

う方がいたら、デマンド交通では往復 800 円だが、同じ区間を走っている路線バスだと安く（具体的な金額提示）なることを告知するのも良いのではないかと。具体的に公共交通の使い方を提案してあげることによって利用促進につながると思う。

【事務局新城】 今回の調査では 175 件のうち、往復利用は 80 件が往復だった。その他の方はそれ以外の方法で移動している。そういった方々を公共交通利用して貰える可能性を探る必要がある。

【琉球バス小橋川】 域外移動の時には他公共交通と連携して使った方が便利であるという周知をしてはどうか。

P4 のデータで出ているように、交通費を安くするという理由で路線バスを利用していた方がデマンド交通を利用している傾向が出ている。市域内運行に限った視点で見ると、これまで路線バスを乗り継ぎ利用をしていた方が、デマンド交通に移ったということが考えられる。しかし、域外移動の視点を入れて、公共交通を組み合わせることを促進することで、お互い相乗効果がでるのではないかと。

どこで路線バスと乗り継ぐのか、主要拠点（バス停）を決めて、周知すると効果が出ると思う。デマンド交通は域内交通のため、域外移動の可能性を広げることが他公共交通の連携や利用促進につながると思う。

【事務局豊里】 その視点で見たとき、域外移動をする場合の路線バスとデマンド交通との主要な結節拠点を一緒に検討して頂きたい。現在、アプリ上では浦添市の隅にあるバス停（勢理客等）を設定しているが、主要な拠点を決めて、広報していきたい。

【東陽バス比嘉】 路線バス同士は競合している路線もあるため、お互いのシステムを案内できないが、デマンド交通では、どこのバス停に行き何番に乗ればいくら位でどこに行けるといった、具体的なお知らせをしてはどうか。

【事務局上間】 今後の広報活動の参考にさせて頂く。

【沖東交通東江】 路線バスのダイヤやシステムはどのように案内しているのか。

【東陽バス比嘉】 のりもの NAVI というサイトで時刻表や運賃、バスロケーションシステムでの現在位置を案内している。

【事務局上間】 のりもの NAVI は年間 30 万 PV とよく利用されているサービスである。

【沖東交通東江】 タクシー業界もスマートフォンを活用した周知活動をしているが、端末をお持ちでない高齢者等の利用者への乗り方や案内に苦戦している。

【事務局豊里】 デマンド交通運行事業者へお伺いしたいが、デマンド交通の利用者の従前の交通手段でタクシーと回答した方もいらっしゃるのと、予約センターに電話してきたお客様で希望時間にデマンド車両が配車できない場合は、タクシー会社の番号を案内することも可能か。（連携策として）

【沖東交通東江】 可能だと思うが、タクシー会社は無線局で分かれているため、どこの番号を案内するのは難しい問題だと思う。また、予約センターが案内したタクシー会社をお客様が許容してくれるのか等、検討すべき点は多い。

【事務局豊里】 利用者目線で考えると、移動したいと思い立った時にとりあえず予約センターに電話してデマンド予約を試みるが、配車できない場合はタクシーを配車してくれる等のサービスがあると便利ではないか。

【沖東交通東江・前里】いいと思うが、実施に向けてはハードルが高い。現在組合に加盟している8社の中でも配車バランスやシステム統合等、検討すべき点が多い。各社共通で使えるアプリを取り入れて、利用者や予約センターが選べるようなシステムがあるといい。ただ、アプリだと高齢者は使いづらい。

【事務局上間】路線バス、デマンド交通、モノレール等、移動手段をそのようなアプリで選択できるのが「MaaS」という取り組みである。例えば電話で問い合わせたらオペレーターや自動音声で最適な移動手段が検索できて案内、配車できるような予約センターがあれば、いわばアナログ版MaaSが実現できる。ただし、予約センターの負担が増えてしまうが。

【沖東交通東江・前里】利用者が月額を払う、または利用するごとに課金するシステムを作り、コンシェルジュサービスとして展開するのであれば、予約センターで実施しても良いと思う。病院の予約受付も可能である。

【事務局上間】路線バスは大量輸送であるため、利用者個別毎に細やかなサービスは提供が難しいのではないかと。

【琉球バス小橋川】お客さん自体もあいまいな質問（バス停名称も知らない等）で聞いてくるため、個々の対応は難しい。

【事務局上間】高齢者向けの乗り継ぎサービスとして、最初に利用するのがデマンド交通であれば、デマンド受付の際に、他交通機関への乗り継ぎ案内をフォローアップすることも可能ではないかと。

【沖東交通東江・前里】可能だと思うが、高齢者に口頭で伝えるというのは困難ではないか。例えば、予約したデマンドを降りる際、チケット等の紙形式でその後の旅程をお渡しすると良いかもしれない。

【事務局上間】本土の事例だが、路線バスと鉄道の乗り継ぎがスムーズに行くよう、鉄道の到着時間に路線バスが到着するようにダイヤを組んでいる。先ほどのサービスを行う際は、乗り継ぐ路線バスやモノレールのダイヤに合わせて予約を受け付ける等の取り組みも有効と考えられる。

【琉球バス小橋川】路線バスで乗り継ぎが難しいのは、事故等で遅延した場合にお客様を待たせてしまう。天候や渋滞等、不測の事態も起こりうるため、利用者に有料サービスとして案内するには限りがあるので。頻度が高い路線を案内するのであれば可能性はあるかもしれない。

【東陽バス比嘉】前回の会議で、感染症の影響による外出機会への影響を調査する旨があったと思うが、調査されたのか。

【事務局豊里・豊里】利用者ヒアリング調査で設問する予定だったが、市民アンケート調査で設問することにした。理由としては、調査対象者がデマンド利用者に限られてしまい、広く意見をとれないことに加え、感染症の影響で公共交通を敬遠される方はそもそもデマンドを使わない（調査対象に含まれない）ため、市民アンケート調査で広く市民へ問うこととした。

【事務局上間】てだこ浦西駅に乗り入れる新たな系統（256番）が運行開始しているが、利用状況などはいかがか。

【琉球バス小橋川】まだ運行開始して間もないため、傾向が出ていない。256番の他にもキャンパスバス（実験運行が乗り入れている）。

【事務局上間】てだこ浦西駅は、交通結節点として整備されてきた経緯があるが、今後の予定等で連携策につながる取り組みは予定されているか。

【那覇バス大岡】 てだこ浦西駅付近を運行している路線をてだこ浦西駅に乗り入れることができないか社内では検討項目として挙がっている。

（４）本事業実施調査スケジュール及びデータ提供依頼について【資料４】

【琉球バス小橋川】 市民アンケート調査の設問で、市内から市外に公共交通で移動されている方を調査（どのように移動しているか）することができないか。そのデータがあれば、先ほど出た公共交通の組み合わせの提案ができるのではないかと。

東側で乗り換えられる方であれば、モノレールとの組み合わせ、西側であれば路線バスとの組み合わせができる。行き先が南行か北行かで案内が変わってくる。さらに、最適な結節点を見つけることで、デマンド交通は乗合率を上げることができ、既存公共交通も利用者の増加につながる。

【事務局豊里】 市民アンケート設計の際の参考にさせて頂く。

【事務局豊里】 路線バス会社から提供できるデータはどのようなものが望ましいか。また、前年同月のデータも頂くことは可能か。

【琉球バス小橋川】 系統ごとの月毎であれば、各社統一して提供できると思う。前年同月のデータも整理していれば提供できると思うが、感染症の影響による利用者減少も含まれている。

【事務局豊里】 東陽バスさん、沖縄バスさんのお考えはいかがか。

【東陽バス比嘉】 各社が提供できやすいフォームを決めて頂ければ提供しやすい。

【沖縄バス名嘉山】 琉球バスさん、東陽バスと同じ考えである。

【事務局豊里】 データ提供やフォームについては、路線バス事業者の皆様は別途、ヒアリングさせてもらいたい。

【事務局新城】 利用者の方から、免許返納者割引等の割引策の要望も出ている。デマンド交通での割引策についてご意見を伺いたい。

【琉球バス小橋川】 現時点のデータでは、路線バスの影響は少ないと思う。しかし、すでに公共交通機関が十分に使える方々の利用が増えていくのであれば慎重に判断すべき。デマンド交通の利用対象者は公共交通が不便な地域の人たちの利便を高めるものと認識している。

【事務局新城】 市民に対し、マイカーから公共交通へ転換させる難しさを改めて感じている。新たに公共交通利用者を掘り起こすには、公共交通全体の魅力を高める策が必要と思う。

【事務局仲里】 デマンド交通の市民説明会でも皆さんマイカーで来所されていて、高齢者の運転手も多いことを実感した。そのような方々も免許返納すれば公共交通が割引運賃で乗ると知れば、運転免許の返納促進による交通事故減少にもつながる。

【事務局新城】 マイカーの高齢者の方は、公共交通のお得な情報を知る機会が少ない。まずは、デマンド交通に乗るきっかけを作り、デマンド交通に乗れば、その他の公共交通サービスの情報を知ることができるような取り組みをしたい。まずは、公共交通に乗ってもらうきっかけを作ることが重要と思う。

■その他

【事務局豊里】 データ提供依頼については、個別に連絡を差し上げる。

開催の様子



第2回浦添市デマンド交通モニタリング会議 参加者名簿

所属	職名	氏名	出席
沖縄都市モノレール株式会社	常務取締役	ナカムラ マモル 仲村 守	○
那覇バス株式会社 株式会社琉球バス交通	次長	コバシガワ トモタカ 小橋川 共隆	○
	業務課 主任	オオオカ ジュンシ 大岡 純士	○
沖縄バス株式会社	運輸部 業務課 課長	ナカヤマ ヨシオ 名嘉山 敬雄	○
東陽バス株式会社	常務取締役	フクハラ トモヒロ 普久原 朝啓	○
	運輸部 次長	ヒガ ヨシナオ 比嘉 良尚	○
一般社団法人 沖縄県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	タナカ ケンジ 田中 健治	○
	事務局長	ツハコ オサム 津波古 修	○
沖東交通グループ	営業課 課長	アガリエ ユウセイ 東江 優成	○
	企画課 課長	マエザト タツヤ 前里 達也	○
合名会社浦城タクシー	代表社員	オオシロ ヒロミ 大城 洋美	
株式会社沖縄交通	取締役	トミヤマ アラン 豊見山 安蘭	
浦添市 都市計画課	係長	ナカザト ヨシフミ 仲里 善文	○
	技師	シンジョウユウヤ 新城 裕也	○
一般社団法人 沖縄しまたて協会	主任研究員	ウエマ ジュンヤ 上間 淳也	○
	研究員	トヨサト ヒロキ 豊里 博輝	○